

共同研究室

昭和四十四年度第六回研究会（十一月七日）

▼テーマ 京都商人の商法

—老舗の店則から—

報告者 足立政男氏

（報告要旨は第十八巻・第二・三及び四号に掲載）

昭和四十四年度第七回研究会（十二月五日）

▼テーマ 比較生産費説の展開

報告者 清水貞俊氏

（報告要旨は本号論説の項に掲載）

昭和四十四年度第八回研究会（四十五年二月六日）

▼テーマ 実現理論としての成長理論

報告者 建林正喜氏

（報告要旨は本号論説の項に掲載）

昭和四十四年度第九回研究会（二月十三日）

▼テーマ及び報告者

戦時労働市場について

三好正巳氏

共同研究室

（報告要旨は本号論説の項に掲載）
立体幾何を平面的に考える

荒井正治氏

▼本年度（昭和四十四年四月以降四十五年三月迄）会員が本誌外

に発表した業績は、つぎのごとくである。

井上 晴丸

日本資本主義と農業

—農政の転機にふれて—

▲農業協同組合▼ 昭和四十四年十二月

浜崎 正規

徳島県繊維工業の実態

—縫製工業の実態報告書—

▲徳島県商工労働部▼ 昭和四十四年九月

徳島県化学工業の実態

▲徳島県商工労働部▼ 昭和四十四年九月

大阪の中小企業の歩み

—「櫛産業二〇年の歩み」論稿所載—

▲大阪府立商工経済研究所編▼

昭和四十五年三月

細見 英

マルクス経済学の形成

出口勇蔵編『経済学史入門』

▲有斐閣▼ 昭和四十四年十月

二五五（六一一）